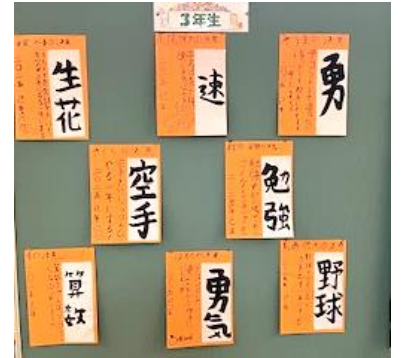




かけあしで過ぎる1月

冬休みが終わり、年度末に向けて“さあスタートだ！”とついこの前話をしたのですが、すでに1月が終わろうとしています。これからは、卒業に向けての準備が始まったり、小学校、中学校共に「入学説明会」があったりと、終わりに向けた準備と始まりに向けた準備が同時に進行します。また、中学3年生にとっては『進路決定』に向けての最終段階でもありますね。一日一日を充実したものにしていきたいものです。

体調管理に努め、最後まで元気に駆け抜けましょう。



3年生「今年の抱負」

2月主な行事予定 ※予定は変更になる場合があります。

- 3日(月) 全校朝会、川登中入学説明会(6年生)
- 5日(水) 育友会広報部会19:00、フッ素洗口
- 6日(木) 新入学児童保護者説明会
- 10日(月) 代休(2月15日)
- 12日(水) フッ素洗口
- 15日(土) ありがとう集会・学級育友会・専門部会・6年親子ふれあい活動・複式学級説明会・評議員会、【お弁当の日】
- 17日(月) 読み語り
- 18日(火) SC来校(午前中)
- 19日(水) フッ素洗口
- 20日(木) 第3回学校運営協議会、1年～3年なぞペー
- 26日(水) フッ素洗口

3月主な行事予定

- 3日(月) 全校朝会
 - 5日(水) 学級会計監査6年
 - 6日(木) 学級会計監査1年～5年
 - 7日(金) 卒業式練習開始
 - 10日(月) 読み語り
 - 11日(火) 地区児童会、SC来校(午前中)
 - 12日(水) 卒業式総練習、大掃除
 - 13日(木) 卒業式準備(4年、5年)
 - 14日(金) **第78回卒業証書授与式**(※在校生も給食無し下校)
 - 21日(金) **お弁当の日**
 - 24日(月) 令和6年度修了式・辞任式
 - 27日(木) 育友会会計監査、育友会引継ぎ
- ※学年末・春季休業期間 3月25日(火)～4月6日(日)

3月までの主な行事をお知らせいたします。卒業式関連、育友会関連など重要な行事が続きます。また、お弁当の日が2回あります。お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2月行事予定にある複式学級説明会(2月15日実施予定)では、在籍している学年の児童数によって決まる学級数の仕組みと、複式学級の運営についてどのように対応するかを関係学年(新2年生・3年生)の保護者様に説明いたします。また、関係学年以外の保護者様で、関心がえられる方も自由にご参加ください。

※ 場所: 2階ふれあいルーム
時刻: 16:00開始(20分程度)

アイデア満さい！ 立体工作

立体工作展



枯れ枝、厚紙、空き箱、モール、綿、ストロー、紙粘土・・・様々な材料の特徴を活かしながら、テーマに沿った作品を制作しました。

4年生の作品・・・ツリーハウスでしょうか、こんな秘密基地みたいな家を考えながら作っている時は、本当に森の中でこんな基地をつくれたら！と、想像を膨らませて夢中になっていたのではないのでしょうか。他の学年の作品も、自分の思いを込めながら作られた作品ばかりでした。



どんな感じかな・・・

4年生が福祉体験を行いました。社会福祉協議会から講師を招き、「アイマスク体験」と「高齢者疑似体験」を行いました。

視力が遮られると・・・どうやって移動する？どうやって物を探す？・・・

普段は、当たり前のように物が見えている生活をしています。いろいろな場所を走ったり、跳びはねたりすることも問題なくできます。探し物をする事だって問題ありません。その見えている世界から見えない（見えにくい）世界に変わった時、どのようなことを思い、どのようなことを感じたのでしょうか。

続いて、年齢を重ねたら体の動きはどうなる？・・・

今と比べて年齢を重ねるごとに、できるようになっていくこともたくさんありますが、徐々にできなくなっていく・動きづらくなっていくことが増えていくことを想像できたでしょうか。



※アイマスクをして、折り紙を折っています。普段、紙を折るとき、視線は手元に向きますが、見えない状況では、手先に意識を集中しているのでしょうか、視線が上がっています。

※利き手側に装具を付けて階段の上り下りや、箸を使ったり、ペットボトルを開けてみたりもしました。また、移動する時は、介助の練習もしてみました。4年生の子ども達は、教えられずとも「ここに段差があるよ」とか「〇〇に曲がるよ」とか声をかけたり、自然に手を添えたりすることができていました。

講師の先生からは、「視力に障害を持っている方や高齢者の方すべてが、不自由に、不安を持って生活されているわけではない。」と前置きをされた後、「でも、何か困っている様子だったら、何かお手伝いしましょうかと声をかけてほしい。その勇気を持ってほしいです。」とお話がありました。

特別なことをしなければいけないのではなく、「お手伝いしましょうか？」「だいじょうぶですか？」という声をかけることです。そして、その勇気を出す・・・そのためには、自分以外の人に関心を持つことです。

